

# 図書室だより vol.122



## 中大高生の人気本 2016 年上期 Best リーディング

- ★★★図書館戦争シリーズ・植物図鑑(有川浩)
- ★★11 文字の殺人(東野圭吾)
- ★★世界から猫が消えたなら(川村元気)
- ★獣の奏者・守り人シリーズ(上橋菜穂子)
- グローバリゼーションとは何か(伊豫谷登士翁)
- 楽隊のうさぎ(中沢けい)
- 悪の教典(貴志祐介)
- 退出ゲーム(初野晴)
- 水族館ガール(木宮条太郎)
- No.6 beyond(あさのあつこ)
- イニシエーション・ラブ(乾くるみ)
- 安保法制の正体(西日本新聞安保取材班)
- 塩の街(有川浩)



今回も有川浩さんの作品が多く上がりました。1位の『植物図鑑』は女子力アップに効果があるとか…。

『楽隊のうさぎ』『退出ゲーム』は吹奏楽部の話です。

『水族館ガール』はドラマ化されましたね。シリーズとして3冊まで出ているので、ぜひ読んでみて下さい。

3年生が社会科研究に使ったと思われる本も上位に入りました。

図書室だよりではまだ紹介していない新着図書もたくさんあります。ぜひ図書室に足を運んでね。

### ☆図書委員からのオススメ☆

#### 『オーダーメイド殺人クラブ』辻村深月(B913-Y-1.2)

『これは、悲劇の記憶である。』

クラス内ヒエラルキー上位の「リア充」グループに属する小林アンは、些細なことで変貌する友人との関係に世界の狭さを感じていた。

実は、死を予感させる退廃的な美に惹かれるアン。

アンはある日、クラスメイトで「昆虫系」の徳川勝利が

河原で動物を殺しているような現場を目撃した。

それをきっかけに近づくと、お互いに兆通する美意識を感じるようになる。

母親の無理解と、友人関係の複雑さに苛立ち絶望したアンは

「私を、殺してくれない？」

と、徳川に自身の殺害を依頼するが…？

少年少女達の不安定な心理を描き出す青春小説。

アンと徳川の二人が作る事件の結末とは…。

1年 女子図書委員

返却された本を書架に戻す作業をしていると、名前がア～カ行の作家の本の貸出が多いように感じます。上の人気本のランキングを見ても、何となくそんな気がしませんか？書店で小説は作者の名前の五十音順で並べてあります。大部分の人はア行の棚から見ていく傾向にあるので、よく見てもらえるよう五十音の早い方で始まるペンネームをつける作家も多いのだとか…。何か面白い本がないかなあと思った時には、いつもとは反対の棚から見ていくと、面白い本が見つかるかもしれませんよ。